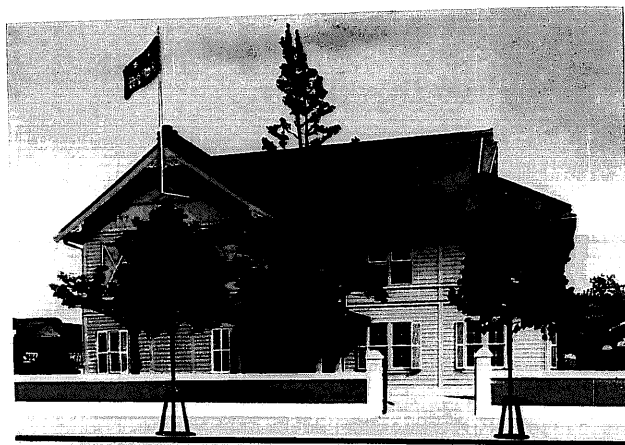


新装なれる日本労働會館の威容



財団法人日本労働會館

(日本労働總同盟本部)

明治廿七年建設、惟一館と稱し、福澤諭吉、片山潜、安部磯雄、吉野作造等これに關係し、我國社會思想の淵源となる。大正元年八月一日鈴木文治外十四名の労働者此處に相會し日本労働總同盟の前身友愛會を創立す。爾來二十年、我國労働組合無産政黨は、左右、中間各派、概ね此處より出でたり。農民組合労働學校も亦此處に發す。昭和五年十月、日本労働總同盟關東労働同盟會之を買収し、大改築を加へて日本労働會館と改稱、労働者の地位向上、福利増進事業の指導機關たらしむ。日本労働總同盟、出版印刷労働組合本部も此中に在り。敷地三百五十一坪、延建坪二百二十坪、大講堂、會議室、小集會室、圖書室、教室、娛樂室、事務室等十五室を有す。